

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 1月 5日 更新

事務事業名		調整池等管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	事業部	課長名	中村 公彦
	施策	1	危機管理・防災対策の推進			所属課	建設課	担当者名	榎野 努
	施策の柱	1	災害の未然防止対策			所属班	管理計画班	(内線)	2254
予算科目	会計一般	款 8	項 3	目 1	事業連番 10003	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑤ コスト削減優先度評価結果 : ⑨		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	調整池等管理業務、護岸雑草処理、調整池維持管理負担金の支払い。 調整池及び護岸管理を放置すれば、事故や災害発生の要因となるため、市で管理を行う。
【業務の流れ】	調整池管理業務：設計積算→見積徴収→契約→完了検査→支払い、維持管理負担金支払、護岸雑草委託説明会→契約→確認→支払い 調整池のフェンス等の安全確認。
【主な予算費目】	委託料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	雑草等による住環境悪化を懸念した苦情がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	調整池管理委託業務の発注を行った。水利組合等へ調整池維持管理負担金の支払った。調整池フェンス等の点検を行った。	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		調整池管理委託業務の発注。調整池維持管理負担金の支払い。調整池フェンスの点検。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 箇所 ア: 調整池管理箇所数 イ: 護岸雑草処理面積	予算の主な増減の理由 ア: セミコンパーク調整池維持管理負担金算出根拠変更のための減額 イ: m
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) ア: 市民数 人 イ: 件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	大雨時に水害を防ぐため、調整を行い排水する。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) ア: 調整池の機能が満たされていない数 箇所 イ: 護岸雑草の苦情件数 件
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
水害を最小限に留めるため調整池の維持管理が適正に行うことが目的である。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標	ア 箇所		14	14	14	14	14	14	14	14	
	イ m		84,120	84,120	84,120	84,120	84,120	84,120	84,120	84,120	
② 対象指標	ア 人		58,237	59,067	59,333	59,700	59,881	60,429	61,500	62,000	
	イ 件		0	0	0	0	0	0	0	0	
③ 成果指標	ア 箇所		0	0	0	0	0	0	0	0	
	イ 件		1	1	1	0	0	0	0	0	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	969	1,095	917	1,051	1,000	917	917	
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	6,381	6,569	7,553	7,095	7,411	7,553	7,533	7,533
		(A) 事業費計	千円	7,350	7,664	8,470	8,146	8,411	8,470	8,450	8,450
		(A)のうち指定経費	千円	1,472	1,801	2,020	1,783	1,961	2,020	2,020	2,020
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	6	6	5	6	5	5	5	5
人件費	延べ業務時間	時間	1,428	1,428	1,300	1,428	0	0	0	0	
	(B) 人件費計	千円	5,689	5,689	5,179	5,302	0	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	13,039	13,353	13,649	13,448	8,411	8,470	8,450	8,450	

事務事業名	調整池等管理事業	所属部	事業部	所属課	建設課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 随時、維持管理を行うことで、水害から市民の財産と生命を守ることができる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 維持管理事業は、安全を維持するものである。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 管理業務は適正な設計積算を行っており削減の余地はない。負担金については金額確定しているため削減の余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在必要最低限の人件費にて業務を行っている。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全ての住民に公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 水害を最小限に留めるための調整池であることから、市民、財産を守るのは市の責務でもあることから、行政が管理すべきものである。

3 評価結果の総括 (CHECK)

調整池の機能維持、及び護岸の管理など適切に管理ができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						